

- [17] N.E. Steenrod, The topology of fibre bundles, Princeton, 1951.
- [18] I. Tamura, On Pontrjagin classes and homotopy types of manifolds, J. Math. Soc. Japan, 9 (1957), 250-262.
- [19] R. Thom, Quelques propriétés globales des variétés différentiables, Comm. Math. Helv., 28 (1954), 17-86.
- [20] ———, Les singularités des applications différentiables, Ann. de l'Institut Fourier VI (1955-56), 43-87.
- [21] H. Toda, Some relation in homotopy groups of spheres, Jour. of Inst. Polyt. Osaka City Univ., 2 (2) (1952), 71-86.
- [22] G. W. Whitehead, A generalization of the Hopf invariant, Ann. of Math., 51 (1950), 192-237.
- [23] H. Whitney, Differentiable manifolds, Ann. of Math., 37 (1936), 645-680.
- [24] W. T. Wu, Sur les classes caractéristiques des structures fibrées sphériques, Actual. Sci. Industr., 1183, Paris, 1952, 1-89.

## 会 報

1. 数学教育に関する意見書. 本誌8巻3号(p. 189)に報告したとおり, 本会では昨年9月, 文部大臣宛数学教育に関する意見書を提出した. 本年春京都の年会で行われた本会と日本数学教育会との共催による'数学教育に関する討論会'およびその後の懇談会の席上, 同様の意思表示を重ねて行うようにとの要望が, 会員よりあつたことを, 秋月理事, 柴垣評議員より評議員会に伝えられた. 評議員会および理事会で協議の結果, 前回の意見書を添え, 中央教育審議会長宛次の意見書を提出することとなつた:

本会では, 去る昭和31年10月, 数学教育に関する別記のような意見書を, 文部大臣宛提出いたしました. 貴審議会にては, 数学教育を含む科学技術教育について, 目下御審議中と承りますので, この件に関する本会の意見を, 重ねて下に申述べたく存じます.

1. 小中学校における算数数学の時間数については, 文部省でも増加される御方針と承っておりますが, 他の文明諸国の実情をも御勘案の上, わが国の教育が, 前回の意見書に具申しました方向に推進されますよう, 希望いたします.

2. 大学入試および高等学校における数学課程の問題については, 文部省にて, 前回具申しました本会の意見と, 高等学校における数学教育の現状とを調整する案が作られておりますが, 高等学校の現状を改良改善して, 現在の社会情勢の要望に十分応ずる数学教育を可能ならしめる方策を講ぜられることを希望いたします.

昭和32年9月

2. 数理科学研究所設立の計画. 本誌8巻3号に報告されているように, 学術会議第22回総会で可決された基礎科学の研究体制の確立および振興に関する政府への要望案のうち, '研究センターの設置'がうたわれており, 設置を考慮すべき研究センターの一つとして'応用数学研究所'が挙げられている. そのような研究所を設立すべきかいな, また設立の場合はその方針を検討するため, 学術会議の数学研究連絡委員会に応用数学小委員会が設けられ, 本年5月以来協議を重ねて来た. 今日

までの協議の結果, 次のような組織をもつ研究所の設立が考えられている.(研究所の名称は'数理科学研究所'とよぶことが委員会の大勢の意見となつている.)

### I 基礎部門

- 基礎数学 (1) 数理論理学(計算機構への応用を含む)  
 基礎数学 (2) 代数学, 整数論(量子論等への応用を含む)  
 基礎数学 (3) 幾何学(位相幾何学, 各種多様体論, 場の理論への応用を含む)  
 基礎数学 (4) 函数論(特殊函数論, Potential論等)  
 位相解析 (1) 線型位相空間論(Hilbert空間論等)  
 位相解析 (2) 超函数論(演算子法への応用等)  
 位相解析 (3) 近似理論(摂動法, 弛緩法等)  
 函数方程式 (1) 常微分方程式  
 函数方程式 (2) 偏微分方程式  
 函数方程式 (3) 積分方程式, 差分微分方程式等

### II 応用部門

- 応用解析 (1) 波動現象  
 応用解析 (2) 連続物体の力学  
 応用解析 (3) 原子物理学  
 応用解析 (4) 場の理論  
 確率過程論 (1) 統計力学, 拡散理論等  
 確率過程論 (2) 予報理論, 情報理論等  
 統計数学 (1) 推測過程論, 統計的決定理論  
 統計数学 (2) 実験計画法  
 計量経済学 ゲーム理論を含む  
 経営数学 (1) 線型計画法, 在庫管理論  
 経営数学 (2) 待合せ理論, 取替の問題  
 経営数学 (3) システム工学(自動制御理論を含む)  
 計算数学 (1) 数値解析  
 計算数学 (2) 計算機構の研究

### III 数値計算部

- 科学計算課 入力情報が少く処理過程が多いもの  
 産業計算課 入力情報が多く処理過程が少いもの  
 数表課 函数表, 公式集の整備保存  
 アナログ計算課 科学上および産業上の模型試験